

被災地の皆さんのため、できることから全力で！

熊本地震 被災地への松田町の支援状況

熊本県で震度7を計測した4月14日の地震から1ヶ月以上が過ぎました。その間に町が行った支援をご報告します。(5月20日時点まで)

職員1名を被災地に派遣 松田町としてできる支援を現地で探る

地震発生直後に、熊本県出身職員の実家が被災したとの報告を受けました。被災状況調査の公務を任命するとともに、帰省させました。4月21日(木)〜28日(木)まで現地に派遣し、町として情報収集を行いました。

現地での支援活動

現地では大津町と益城町の災害対策本部、南阿蘇中学校などの避難所を訪れて現地の被災状況を調査したり、がれき処理のボランティア活動に参加しました。また、大津町に支援物資の提供を申し出、搬入に向けて関連団体との調整と道路状況の確認を進めました。

大津町へ支援物資を自力搬送

松田町より被災地へ支援物資を届けるには宅急便では1週間を要することから、職員4名にて直接届けることを選択しました。26日(火)の午後4時に支援物資を積んだ片用車で松田町役場を出発し、27日(水)午前8時30分に熊本県大津町へ到着。物資を大津中学校に届けました。その後、大津町役場にて田中副町



物資収集所となった大津中学校体育館へ支援物資を届けました。



【支援物資】ブルーシート/土のう袋/ズボン/婦人用衣類/シャツ(紳士・婦人)/肌着(紳士・婦人・子ども)/水/野菜ジュース/梅干し/お菓子など(お菓子は子どもたちにとっても喜んでもらえました。)



ご協力いただきありがとうございました。(若葉まつり会場での義援金活動)

義援金額合計 758,414円 (5月20日時点)

義援金活動日	活動者	金額
① 4月18日(月) 新松田駅周辺	松田町・大井町職員、松田ライオンズクラブ、町民有志	204,968円
② 4月20日(水)~22日(金) 新松田駅周辺	松田町職員、松田町社会福祉協議会	159,835円
③ 5月5日(木・祝) 寄自然休養村若葉まつり会場	北川大介さん、松田町職員	136,888円

〈主な内訳〉

4月18日(月)より駅前などで3回行った義援金活動(左表)では、総額5万1691円の義援金を募ることができました。通勤・通学途中にも関わらず協力いただきありがとうございます。また、若葉まつり会場の皆さまと、義援金活動にご協力くださった歌手の北川大介さんにも御礼申し上げます。お寄せいただいた義援金は、日本赤十字社を通じて、全額を

命を守る備えを忘れずに

この地震は熊本県に大きな爪あとを残し、被災者の方の不安な生活はまだ続いています。「困った時はお互い様」の助け合いの精神で、町は今後も募金箱を設置して支援を続けます。また、いつでもどこで大地震が起こるかわからない状況です。今一度、**ご自宅の耐震補強/家具の転倒防止/地域の避難所/非常時持出品が玄関など持ち出しやすい場所に用意してあるか**をご確認ください。ご自分とご家族の命を守るために、常日頃から備えておきましょう。

【問い合わせ】

熊本県における支援活動について / 安全防災担当室 防災防犯係 ☎(84)5540
義援金活動について / 日本赤十字社 神奈川県支部 松田町分区分 ☎(84)5544 (松田町役場子育て健康課)

【職員が熊本で感じたこと】

本震並みの前震後に本震が発生したことは想定外であり、熊本県全体で虚をつかれたようでした。地震への備えや心構えの重要性を感じました。/ 使用中の避難施設が余震で使えなくなる可能性があり、今後の町の対策について考えさせられました。/ 雨の多い季節では、壊れた屋根を被うブルーシートの需要が特に多いと感じました。/ 避難所の方の顔色は悪く、病棟のような雰囲気でしたが、職員は笑顔で対応していました。

6月1日(水)〜6月7日(火)は水道週間

「じゃ口から 安心とどけ 未来まで」

平成28年度スローガン



1人1日3リットルの水を3日分

水道週間とは 「水道週間」は、厚生労働省、都道府県をはじめ各市町村の水道事業体などによって推進されています。さまざまな広報活動などの運動をおして、水道についてさらに国民の理解と関心を高め、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図るとともに、水道事業のさらなる発展に資することを目的として毎年6月に実施されています。

震災の度に痛感する、水の備えの大切さ

「水」は人間の命を維持するために最も重要なものです。平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、東北地方を中心に各地に甚大な被害をもたらす、断水戸数が約257万戸に達するなど、日本中で「飲料水の備えの大切さ」がクローズアップされました。

また、今年の4月14日に発生した熊本地震でも、被害の規模は5月20日現在未だ明確になっていませんが、「飲料水の備えの大切さ」が再認識されました。



【問い合わせ】環境上下水道課 上下水道係 ☎(83)1227

松田町では、震度5弱の地震が発生した場合、配水池の「緊急遮断弁」が作動し、水の供給が停止します(一部の地域を除く)。これにより、地震の被害で破損した水道管からの漏水の防止、有害物質の流入防止など、環境面や衛生面に配慮した対応を行います。このような理由から、作動した緊急遮断弁の解除は、原則として町内の水道管点検を実施した後にになります。そのため、松田町では日頃より地震の発生や台風、激しい雷雨で水の供給が停止した場合に備えて、ご家庭や企業などにおいて、1人1日3リットル、3日分で9リットルの飲料水の備蓄や、くみ置きをお願いしています。4人家族だと36リットルの飲料水が必要です。そのほか生活用水を含めると大量の水を備蓄することになりますので、その方法や備蓄水の使用方法などについて、日頃から意識することが大切です。